

四日市市諏訪町1-5
四日市市教育委員会
社会教育課内
059-354-8238
印刷 阿竹印刷工業(株)

四日市市PTA連絡協議会
発行責任者 鈴木 俊史

市P連ニュース

四日市市PTA連絡協議会事務局
会員のみなさまの声をお待ちしております。
TEL 354-8238 FAX 354-8308

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
四日市市教育委員会 社会教育課内
事務担当:宮本 華代
連絡時間:月・火・木・金9時~15時

会長あいさつ

四日市市PTA連絡協議会 会長 鈴木 俊史



年度末にあたり、育児家事や地域活動などに忙しいなか、日頃より四日市市PTA連絡協議会の活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。
また、今年度は大阪北部地震でのブロック塀倒壊による痛ましい事故や夏の気温上昇が著しく、連日の猛暑日から日射病による痛ましい事故がありました。そのような状況をふまえ、皆様には通学路の安全確保のための総点検や熱中症予防対策等のご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。
さて、今日、世の中はめまぐるしく変化しており、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化をしています。AIに代表されるような技術発展により、将来、今ある職業の半分

がなくなるという予想もあります。今後どのような社会になっていくのか、保護者としても予想しにくいでしょう。一方、教育現場におきましても、いじめや不登校などの喫緊の課題もある中、学習指導要領の改訂に伴い、小学校では、特別な教科として道徳が始められました(中学校は次年度より全面実施)。また、次年度より小学校で英語の授業も全面実施となります。このように、社会環境も教育環境も大きく変化していく今日、子育てをしていくのも、難しい時代でしょう。
しかし、当事者である子どもたちはどのように思っているのでしょうか?ふと校庭で遊ぶ児童の笑顔、部活などでの喜びの顔や悔しい顔などを思い浮かべると、そのようなことを考えているのは、私たち保護者(大人)たちだけなのかも知れません。確かに、楽観視することではないことだと十分承知していますが、まずはこの子どもたちの笑顔を守っていくことが大事なのではないでしょうか。この子どもたちの



笑顔を決やさないために、私たち保護者は、PTAという組織のもとで結束し、今ある社会現象を正しく認識し、共有する必要があると思います。そして、子どもたちの「健やかな成長」は、学校と地域・家庭が力を合わせてはじめて成し得るものだと考えています。
市P連では、今後も本市民政・教育委員会、学校の先生や地域の皆様、そして何より子育て中であられる保護者の皆様と連携し、子どもたちが夢や希望を持てるより良い環境を作り目指して、様々な課題に取り組みしていきたいと考えています。
最後になりますが、皆様のお子様、地域の子どもたち、PTAの仲間たちとのより良き時間を過ごしていただく事を祈念して、結びの言葉とさせていただきます。

平成30年5月27日(日)勤労者市民交流センターにて、PTA講演会が行われました。講師には、オリンピック女子柔道の銅メダリストで現在筑波大学大学院にて教鞭をとられている、山口香さんにお越しいただきました。
山口さんは、柔道を通して自身が感じたこと、また、これからを担う若い世代の子たち、どのようなことを伝えていったらいいのかを、柔道の創始



PTA講演会 夢をかなえるために 大きく伸びるための土台づくり

講師 山口 香さん

者でもある嘉納治五郎先生の教えをもとにお話してくださいました。
嘉納先生は柔術を柔道と名付け、世に広めた方ですが、自身が柔術を習っていくうち、かんしゃく持ちの怒りっぽい性格が、感情を抑え自分をコントロールすることができるようになったのだと言います。それは、試合での真剣勝負の中で反省材料を見つけ、自問自答するうちにどのように応用していけばいいのかが分かってくるからだと思います。その繰り返しによって自己が完成され、次のステップにつながるのだと。また、人は力をつけるにふるいたくなり勘違いが生まれ、人を傷つけてしまうことや

パワハラのようなことが起こるので、身についた力を悪用に使わず、世の中の為に使いなさいと強く伝えていくそうです。
山口さんは、コーチング専門で指導者を指導する立場でもありますが、次の両方のことを合わせて教える必要があると言います。ティーチング↓「知らないことを教える」コーチング↓「あるものを引き出す」そして、自分で考えさせる環境を作り、フィードバックのきっかけを与え、どうしてそのような行動をしたのを問いかけることによって選手は自問自答を繰り返し、アウトプット、良い判断ができるようになると言います。
また、自分なりの教え方ではなく相手と共有して今の時代に合った教え方が必要なのだと思います。「はじめてのおつかい」というテレビ番組を例にあげ、そこにはコーチングのヒントが隠されていてとても分かりやすいのだと話してくださいました。

この番組は未就学児の小さな子どもが、一人または兄弟姉妹だけではじめておつかいに出掛けるとい内容ですが、最初は親も緊張し、離れるのも不安な様子が始まります。なんとか出掛けるのですが、突然のハプニングに遭遇してしまふ。それでも子どもなりに解決策を探ることができ、また兄弟姉妹で出掛けた際には2人で助け合い、お兄ちゃん、お姉ちゃんも、妹の手を握って守ってあげ、親の前では見せない姿を見せてくれるのです。それは、子どもたちが様に優れた能力を持っている、それを発揮できたということだそうなんです。これがコーチングというもので、本来自分自身の中にあつたものが引き出されたのと同じです。最後、親のところに帰ってきた子どもたちの表情は晴れやかで、どこか誇らしげな感じに見えるそうです。
「親は目の前の子どもが転んだら手を差し伸べてしまい、子どもはそうしてもらえないの

が当たり前と思ってしまう。だから離さないといけない。そうしないと社会に出た時、言われたことだけをやる。その先に行けず困るのです。子どもには試練を与え、自立させることによって力を発揮し、それを乗り越えた時、次に挑戦する自信を得るのだ。」と強調されました。
また、親は子どもに対して「任せる勇氣」を持つことも大事だとおっしゃいました。男の子のお母さんでもあり、厳しい柔道界で活躍されていた山口さんの言葉は力強く、時に優しく語りかけるように話され、会場の皆さんにも共感できる内容でした。
日頃、子どもに対して先回りして手伝い、口が出てしまうことがしばしばあります。そんな時、子どもは本来持っている力を信じ「任せる勇氣」を持つて接していけたらと思います。

人権学習会

ナニワのアナウンサーが話す 人種のこと、食のこと

講師 寺谷 一紀さん



平成31年2月2日(土)四日市勤労者市民交流センターにて、浪速のアナウンサーこと、寺谷一紀さんを講師に迎え、人権学習会が開催されました。寺谷さんのオフィシャルサイトにある通り、寺谷さんは本当に多彩な顔をお持ちのようで、今回のテーマ「人権のこと、食のこと」に関して約1時間、関西人らしく面白おかしくお話ししてくださいました。
前半の子どもの人権についての講演では、「常識を疑え」ということから始まりました。

自分の常識が本当に常識なのか、大人の勝手な価値観が子どもの豊かな感性を歪めていないかということについて、自分自身やプロのアナウンサーの失敗談を交えてお話ししていただき、子どもに対する注意の仕方や接し方について考えさせられました。
後半の「食」についての講演では、寺谷さんは講演前にわざわざ近くのコンビニでおにぎりとメロンパンとヨーグルトを買ってきて、普段から口にしている食べ物の中身に疑問を持ってどうお話をしていたか表示してある添加物や調味料の中には決して体に良いものばかりが入っているわけではないということを買って来た物を使って詳しく説明していただきました。



した。食については国産かどうかぐらいしか見てこなかったの、子どもたちのためにもなるべく注意して良いものを使うかなと思います。
私たちの周りにはテレビやインターネットなどから情報があふれていて、つい、大きな声やたくさんの意見に流されがちです。子どもを頭ごなしに叱ったり、疑ったりすることがないよう、何が正しく何が間違っているかを判断するために、自分の感性を磨く努力をしていかなければならないと感じました。
最後に、寺谷さんの買って来たおにぎりやパンは役員でおいしくいただきました。寺谷さんどうもありがとうございます。

広報紙コンクール

平成31年2月23日(土)四日市市総合会館に於いて平成30年度四日市PTA連絡協議会広報紙コンクール表彰式が開催されました。ここに厳正なる審査の結果、入賞校のご報告をいたします。
本年度は幼・小・中合わせて40校の応募がありました。どれも各校の様子やPTA活動のそれぞれがユニークに紹介されている素晴らしい作品で広報紙を作成された皆様の思いが集結されていたように感じました。



- 最優秀賞 最優秀賞 「あがた」
 - 中野新聞四日市ホームニュース
 - 優秀賞
 - 入選
 - 表紙部門賞
 - レイアウト部門賞
 - 表紙部門賞
- 県小学校 「あがた」
 川島小学校 「さんぼみち」
 小山田小学校 「おやまだ」
 西朝明中学校 「にしあさけ」
 内部幼稚園 「ポップコーン」
 大谷台小学校 「大谷台」
 朝明中学校 「Asake」
 大矢知興譲小学校 「興譲」・桜中学校 「桜」
 羽津北小学校 「けやき」・内部中学校 「あしみ」
 桜小学校 「さくらんぼ」・富洲原中学校「とみすはら」

三河地区 県立高校展

平成30年11月4日(日)じばさん三重にて第2回三河地区高校展を開催しました。四日市市内からは、保護者383名、中学生380名、小学生76名の計839名、三重郡とその他地区合わせて合計1,049名の参加をいただきました。



今年度は、昨年を大きく上回る方々の参加をいただき結果となり、盛大に開催出来たことを感謝いたします。今回も、沢山の声をいただいております。来年度以降、より良い開催に向けて検討していきたいと思っております。

総務委員会

総務委員会は各ブロック長(単P会長)と教職員代表の先生と構成されたメンバーで、主に常任議員会議(会長会)の司会進行、ブロック会や人権学習会などの運営に携わつてきました。

委員の方々は単P会長としての役割を果たしながら、限られた時間の中で、色々な課題について活発な意見交換をし、行事や会議の運営では積極的に動いて下さり意欲的に活動出来たと思います。

来年度も継続してより良い活動ができることを望んでいます。

一年間ありがとうございました。

- 稲葉 千景 (委員長・常磐小P)
服部 義弘 (副委員長・大池中P)
西尾 雅紀(富田中P)
木村 智弘(下野小P)
鈴木 優(山手中P)
生駒 亮(浜田小P)
上戸 恵美(笹川西小P)
新田 悦子(川島小P)
川本 一也(三滝中P)
鈴木 俊史 (市P連会長・河原田小P)

中学校委員会



中学校委員会では、インターネットやスマートフォンの普及で、多くの情報が身近で簡単に手に入られる時代となった現代社会において、今の中学生が、どの様に対応すべく勉強しているのかを疑問に感じ、知りたいと思ひ調べてみようという事になりました。

各学年、男女別に中学生の勉強する場所・時間、塾に行っ

ているかなど、アンケート調査を行い、結果を集計し、グラフを交えて「中学校委員会便り」として皆様にお届けさせていた

た参考にしていただければと思います。アンケートに協力いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

また、一年を通して委員会活動にご尽力いただきました委員の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

生川 勝信 (委員長・朝明中P)
城戸 勝喜 (副委員長・塩浜中P)

- 黒澤 敦志(西朝明中P)
木全 幸子(羽津中P)
小林 ルミ(楠中P)
吉田 昇保(南中P)
西村 崇樹(三滝中P)
大橋 賢二(富洲原中P)



小学校委員会

小学校委員会では「災害」をテーマに話し合いをしてきました。

「まずは自分の命を守ることを一番に考え、揃えておく」と便利な物、公衆電話の使い方等、親子で一緒に話し合いができる様な小学校委員会だよりを作成しました。

委員さん方のご協力のおかげで一年間楽しく活動させて頂く事ができました。

- 井上 綾子(委員長・桜小P)
西内 伸行 (副委員長・大谷台小P)
中原 里恵(八郷西小P)
稲垣 智之(羽津小P)
野坂 泰行(中部西小P)
小林 麻由(内部小P)
米川ゆかり(泉小P)

和志登士(橋北小T)



こども園幼稚園委員会

こども園幼稚園委員会は、委員長と各ブロック委員、教職員代表の計7名で活動しています。

年六回の委員会は各委員のこども園、幼稚園の一室をお借りして開催しました。

10月26日(金)には、市内の21のこども園、幼稚園の代表の方々にご参加いただき、「平成30年度こども園・幼稚園交流会」を開催し、各園の行事やPTA活動について沢山の意見交換がされ、有意義な時間となりました。

こども園や幼稚園がどういったところなのか、年間の活動についても全く知らなかった委員長でしたが、委員の方たちに優しく支えられながら、一年間助け合いながら活動できましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

- 伊藤 礼子 (委員長・西陵中P)
伴野亜紀奈(富田幼P)
山崎 彩 (橋北こども園P)
山内 奈美(常磐中央幼P)
松岡摩衣子(高花平幼P)
水谷 智美(三重西幼P)
樋口 民子(小山田小T)

広報委員会

広報委員会の主な活動は、この市連ニュースの発行と広報紙コンクルの開催です。それに向けての最初の活動として、昨年5月に「広報紙づくり研修会」を開催し、たくさんの方々にご出席いただきました。

コンクルには今年度も魅力いっぱい広報紙を多数応募いただきました。ありがとうございます。

委員の皆さんのご協力のおかげで楽しく活動させて頂くことができました。一年間ありがとうございました。

- 太田 千景(委員長・海蔵小P)
齋藤 有未 (副委員長・八郷西小P)
荒木 有里(保々小P)
萩野有佳里(大谷台小P)
服部扶美代(中部中P)
山本 綾(四郷小P)
保井 裕樹(大池中P)
水野 稔子(常磐西小T)



顧問



市P連顧問として子どもたちの育成と健全な成長のために、学校・園と保護者をつなぐ架け橋として、温かいご声援、ご指導をいただきました。1年間本当にありがとうございました。

- 吉田 隆先生(中部中学校長)
倉田文美先生(浜田小学校長)
岩田美順先生(富田幼稚園長)

常任議員 教育長講話

平成30年9月15日(土)第3回常任議員会において、葛西教育長お越しいただき、「これから四日市の教育について」の講話をしていただきました。

子どもの学力・体力の現状・生徒指導関係・教職員の多忙化。また、新しい教育の取り組みについて小学校英語の教科化・道徳の教科化・プログラミング教育。学びの環境の充実では、普通教室空調設備・トイレの洋式化・中学校給食についてお話ししていただきました。

これからの四日市の教育に期待出来る内容の講話でした。



こども園幼稚園交流会

平成30年10月26日(金)橋北交流会館四日市こども園子育て交流プラザにて、平成30年度こども園幼稚園交流会を開催いたしました。

市内21園のこども園、幼稚園の代表の方々にご参加いただき、「各園の活動について」をテーマとし、意見・情報交換を行いました。



発表の際、子どもたちが園生活を楽しく過ごすことが出来るよう保護者のみならず、地域の力を活用したり、役員の負担軽減のための工夫に、園児数の多い少ないに関わらず、どのグループからも聞かれた事に驚きを感じた交流会でした。

5月より各ブロックの委員さんと共に、どんなテーマにするか、会場をどこに決めるか等話し合い、当日は市P連本部役員の方々に御協力頂き、無事終了する事が出来ました。感謝していただきます。本当にありがとうございました。

家庭の目講演会

長友家式 五感の方程式

講師 長友 りえさん (フロッササッカー選手 長友 佑都選手の母)



平成30年11月11日(日)四日市市文化会館第3ホールにて、長友りえさんをお迎えし、日本サッカー界でも有名な長友佑都選手の母として、子育てについてお話しして頂きました。

長友家はアスリートの家系で、心がけてきた子育て論に心が高まりました。(祖父は競輪選手、父は野球・ラグビーなど)シングルマザーとして、3人の子育てをしていく上で、感情的に怒鳴ったことがないという。言葉でわからせるのではなく、姿勢・行動で伝え、常に子ども達に感謝し、親の背中を見せることを心がけ向き合ってきたという。

幼少期、子どもと接する時には「いつも明るく、プレない。迷わない」を大切に、子どもがやりたいと思うことを精一杯応援することを心がけていました。他人に迷惑をかけたりに命に関わることは決してしないようにも言い聞かせてきた。

小学校の頃、水泳・書道・和太鼓を習わせ、すぐに諦めさせないよう、忍耐強く取り組めるように接してきた。

PTA会員寄稿

みなさんこんにちは。日頃はPTA活動お疲れさまです。先日、四日市文化会館でサッカーワールドカップ日本代表の長友佑都選手のお母さんの講演会が行われましたが、みなさん参加されましたでしょうか。

日本代表に選ばれる選手を育てる秘訣みたいなものがあるのだろうか大変興味深くお話を聞かせていただきました。まあ、特別に何かしたわけではないようですが、長友選手のお母さんは常に笑顔で子どもたちに接していたということでした。自分も三人の子どもの父親ですが、毎日が戦場のような日々でなかなか笑ってばかりいられるような状況ではありません。まあ、そこが長友選手のお母さんと自分との器の違いなのでしょう。わが子たちには申し訳ないところですが、前置きはこんなところにしてそろそろ本題に入りたいと思います。

自分はPTA会長を今年からしています。まあ運悪く、クジ引きで負けたわけではありますが。PTA会長の仕事の感想と言えば、「まあなんと行事の多い事か」といったところでしょうか。

会長職だけではありません。本部役員ばかりに負担が偏っているといった状況だと思います。これはどこの学校でも同じだと思います。最近では夫婦共働きで世帯やあるいは介護が必要な家族がいる家庭もあるかと思ひます。PTA役員選出では各PTAで毎年苦勞していることと思ひます。役員ばかりに負担がかかるようなPTA活動では役員のなり手はいないでしょう。市P連で活動モデルみたいなものを作るなど、PTA活動の本旨を踏まえ、改革を実施していただきたいと思ひましたところでもあります。

今年度もあと少し、役員のみなさん頑張りました。

編集後記

多くの方々のご協力のもと、平成30年度の市P連ニュースを発行することができました。この一年間、市P連広報委員会として様々な活動に参加してきました。どの活動も充実しており、イベント後には、参加者だけでなく主催者側も満ちた気持ちになつていたので、講演会でお話しいただいた山口香さんとの出合いは、印象的でした。

指導者として、子供たちに自身が学んだ技術だけでなく、生き方も伝えていきたいという話を聞き、感銘を受けています。PTA活動には、出合いや学びがあります。その根底には、「子どもたちのために」という強い思いがあります。PTA活動は、それらに支えられている活動なのだと改めて実感した一年間でした。

最後に、この紙面を作成するにあたり、たくさんの方々に協力いただきましたことに対し、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

